

— 目 次 —

<特集>

交通事故をなくそう!

- ♣ 交通安全の教育.....13
- ♣ 交通安全施設整備の充実.....26
- ♣ 指導と取締り.....28
- ♣ 被害者救済の対策.....30
- ♣ ある事故多発地帯.....34

ルポ

- 1. 保育中の交通安全.....15
- 2. <ここに人あり> 街角の笛と旗と.....25

★ひとこと

小崎 幸・柴田 悟・岩崎 保

- 自動車こわい・鈴木 昇.....16
- 標識くんが見た交通違反.....12
- 交通事故 むかし・いま.....33

くまもとの明治百年(その3)
神風連と西南役・山口 白陽.....36

★ずいそう★
滝本 泰三・金井 光子・堀 一夫

★グラフィヤページ★
あなたのための交通安全・指導員のいる風景・
県政ハイライトほか

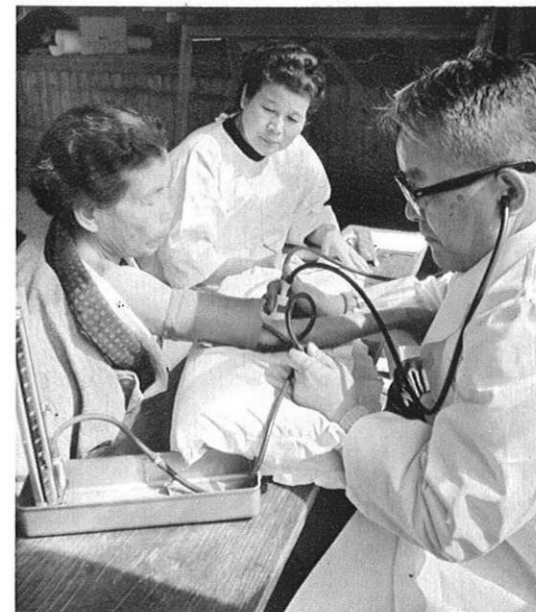
★センターカラー.....城下町シリーズ<菊池市>

★表紙.....江津湖初夏



上・育児のための家庭訪問は保健婦にとって大事な日課。

下・「おかげ様でこんなに元気になりました」
思わずKさんの顔がほころぶ。



上・巡回診療では医師のよきアシスタントだ。
下・きょうは育児学級の日。健康相談や体重測定で忙しい。



保健グループとともに

— Kさんと城南町飯野地区育児学級 —
 体重計の上でご機嫌にはしゃぐ子。駄々をこねて母親や保健婦を困らせる子。明るく賑やかな雰囲気の中で、母子手帳に赤ちゃんたちの成長が記録されていく。上益城郡益城町飯野地区での育児学級風景である。
 「ヨッちゃんは、あまり体重が増えていないわね。どうしたの」「この頃、乳を飲まなくなつたんです。どうしてでしょうか。」保健婦のKさんと若い母親たちとの対話。保健婦というより、なんでも相談できるオバさんといったKさんと母親たちの中には、親しさが溢れている。

四十年十二月に、「熊本県健康を守る婦人会」が発足。上益城郡にも支部が、そして町村地区単位に分会や班が誕生した。この組織を通じて、成人病や結核などの集団検診、あるいは婚前・新婚学級をはじめ、育児、姑学級などが活発に開かれ、健康管理への関心も、広範囲に急テンポの高まりをみせている。
 結核検診を例にとっても、支部の発足前は、六〇%の検診率だったものが、現在では九〇%を超える。
 こうした組織づくりの中で、あるいは個別訪問による指導を通して、地域の人たちと結びついて、地道に健康づくりの手助けをする婦長のKさんをはじめとする保健婦の努力に地域の人たちの信頼感も強い。

